



平成19年度 共に生きる女と男のセミナー

- 【第1回】平成19年11月25日(日)
 テーマ「妻が僕を変えた日」
 講師：広岡守穂氏（中央大学法学部教授）
- 【第2回】平成20年2月23日(土)
 テーマ「～人間らしくイキイキと～女と男のよりよい関係」
 講師：山本コウタロー氏（フォークシンガー／白鷗大学教授）

「妻が僕を変えた日」を受講して

小島千賀子

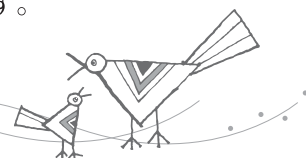


ちょっと興味の沸くタイトルで、何が先生を変えたのかなと思いつつ、講演を聞いていました。親の反対を押し切り中学の同級生と学生結婚して、5人の子供の父となる。ほとんどが体験に基づくお話で、聞き入ってしまいました。こんなによそのお家のお話を聞いてしまつて良いのかなと感じながら。父親となった先生は責任感と使命感で幸せを感じていたようです。育児を手伝おうと、外食・動物園などに出かけ妻の気分転換を促すが、楽しいより大変だと言われびっくり「一時間でもいいから一人になる時間が欲しかった」の言葉に、育児の応援の勘違いに気づく。子供は本当に可愛いのですが24時間一緒に過ごすのは、とても大変なことです。子育てをしながら、三日坊主と言われながらも様々な事にチャレンジする・・・そこには"自分育て"を願望する妻がいたのだと思います。自分育ては一人では出来ないし、一番身近にいるパートナー、家族のささえ・思いやりが不可欠だと感じました。男女共同参画推進、難しい問題のようですがお互いに"思いやり"の気持ちを持つことで、だんだんと問題も解決し、近づくように思いました。今回も男性の参加者が多く、先生を驚かせた様です。ジジ達の子育て支援が期待できそうな三芳町です。

ウオッチング!

「女性と仕事の未来館」

塩野智恵



「女性と仕事の未来館」へ行く機会を得た。JR田町駅から徒歩3分と大変立地も良く綺麗な建物だった。働く女性・働きたい女性を総合的に支援する拠点として、2000年1月に開館した。ここでは、能力発揮・健康に関するセミナーの開催、働くこと全般に関する相談・情報提供などを実施しており、男女を問わず一人ひとりが働くことの中に自分自身の可能性を発見し、それを広げ、心身ともに健康でいきいきとした自分らしい働き方を実現できるようにサポートしている。

常設展示ー過去から未来へ、働く女性のあゆみーでは、明治から現代までを6期にわけ、女性たちが社会でどのように働き、暮らしてきたかを緻密な模型や資料によって詳しく展示している。大変大掛かりな展示に興味深く、今日までの働く女性の歩みがとてもわかりやすかった。また、ライブラリーのコーナーでは、コンピュータを利用した職業選択のための診断プログラムもあり、職業について楽しく学べるようになっている。また、働くことに関する情報源である図書や資料も数多く取り揃えている。「働く」ことについて考えるとき、是非一度足を運んでみては?

事業案内

- 能力発揮事業
 キャリアアップセミナー、起業支援
- 総合相談 (03-5444-4155)
 キャリア・カウンセリング、法律相談、こころの相談等
- ライブラリー事業
 女性が働くことに関する5万冊の蔵書、ビデオ
- 情報事業
 ホームページを通じた情報提供
- 交流事業
 国内交流、国際交流

詳細はホームページで <http://www.miraikan.go.jp>



『日本女性会議2007ひろしま』に参加して

(平成19年10月19日～平成19年10月20日)

浜砂豊子・向吉孝子

『一人ひとり 響きあって いま そして未来へ』の大会テーマのもと、日本女性会議2007ひろしまに、北は北海道、南は沖縄まで全国から4,000人(うちボランティア500人)が集う。

62年前の原子爆弾による壊滅的な被害から力強く復興し、国際平和都市として、平和や人権の尊さを世界に向けて発信してきた広島での開催は、とても意義深いものだった。『平和とは戦争や紛争のない状態だけをいうのではない。すべての人が差別や抑圧から解放されてはじめて平和といえる』と、広島市男女共同参画推進条例前文にあるように、男女共同参画社会の実現を国際平和都市に欠かせない要件として位置づけ、国際的視野にたつて推進している"ヒロシマ"の力強さを実感したからである。(今回の参加者と共に原爆死没者慰霊碑に献花し二度とあるまじと、強く平和を願った。)

三芳町から推進委員2名、職員1名が参加した。分科会は、「食育」と「就労・働き方」を受講。



「食育」では服部幸應氏による基調講演の中で、「食」が人の心と身体に与える影響の大きさや、今問題となっている欠食、孤食などの食環境について改めて見つめなおすことの必要性、生きていくために食を今一度見直すことの大切さを、3つの柱(1.選食を養う 2.食事作法力 3.食育のすすめ)にたえて分かりやすく解説。特に、3歳から8歳までの6年間の、食育・食卓基本作法が子どもの人格形成に及ぼす影響力は70%で、極めて重要であるとのこと。幼い頃の「食」がいかに大切であるかを痛感した。

「就労・働き方」は、金谷千慧子氏による、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の基調講演に続き、CSR(企業の社会的責任)等のシンポジウムが行われた。企業の役割は、商品やサービスを通じて利益と雇用を創出することだけではなく、社員の働きやすい環境の整備、情報公開、不正の回避、地球環境・社会への貢献等がある。注目したのは、社員の環境整備として、男女ともに働き方を見直し、仕事と家事・育児、地域活動など、個人のライフステージにあった柔軟な働き方ができるように、企業、社員と一緒に取り組み、市民がその取り組みを応援していくCSRの考え方の提案だった。二日間にわたり多くの仲間と触れ合い充実した時を過ごすことができた。今回得た知識を今後の活動に活かしたい。

三芳町男女共同参画推進会議とは

男女共同参画の推進を目的とした事業を行政と協働で取り組む団体です。現在、公募により選ばれた7名で構成しています。

活動内容

- 「共に生きる女と男のセミナー」企画・運営
- 情報誌「まなざし」企画・編集
- 男女共同参画推進施策への意見・提案

メンバー募集中!